



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享胤

出席報告：会員 74 名 出席 52 名 出席率 70.27% 前回出席率 86.49% 修正出席 67 名 確定出席率 90.54%

四つのテスト

- ㊦ 真実かどうか？
- ㊧ 好意と友情を深めるか？
- ㊨ みんなに公平か？
- ㊩ みんなのためになるかどうか？

会長報告

川村徳男君

1. 11・12日と地区協議会で原町に行かれた方、ご苦労さまでした。
2. 先週の例会は、2組の海外からのお客さんで大変なごやかな国際親睦が行なわれまして、ありがとうございました。特に設営その他関係の方々、ご苦労さまでした。
3. その折に、N・Bロータリークラブ会長からのメッセージ（原文別掲）をいただきましたので、こちらからもハインライン博士に託して持って行っていただきました。
4. 本山弥さんから退院と勤務復帰のご挨拶状が参っております。早く良くなられて結構でした。
5. 次の例会までの行事

(1) ロータリー関係

次の日曜、19日は春の家族会です。8時半、産業会館前出発ですので遅れないようにお願いします。

20日の月曜日は教育 110 番の第9回目です。カウンセラー、事務局の方よろしくお願い致します。

前後しますが、18日の土曜日は地区の広報及び雑誌セミナーが山形で行なわれ、当クラブから菅原辰吉さんが出席されます。ご苦労さまですがよろしく願います。

直接には関係ありませんが、同日、山形で新旧の分区代理研修会があるようです。

(2) 一般の行事

15日は沖繩返還記念日、18日は国際善意デー、20日は酒田の山王まつりです。

幹事報告

迎田 稔君

- 認証状伝達式のご案内→一戸R.C.
- 創立10周年記念式典のご案内→船引R.C.

地区協議会の報告

佐藤 順治君

去る5月11日(土)、12日(日)の2日間、原町市において1985年度地区協議会が行われましたので、ごく簡単にご報告させていただきます。

第1日目は、第一イン原町で次期会長・幹事会が開催されました。

斎藤ガバナー、松永ガバナー・ノミニーが夫々挨拶され、引続き地区決算の見通し、地区組織等について説明あり、本会議終了しました。

その中で、

1. ガバナー公式訪問は8月8日(木)に決定。当日は火曜日ではありませんので、例会日変更になります。
2. 会員増強拡大セミナーが7月13日(土)実施されます。パストガバナーの石黒先生が主宰することになっております。
3. 庄内分区I・G・Fは9月22日(日)に実施します。

庄内空港の建設を推進しましょう

4. 地区大会は10月5日(土)・6日(日)の2日間
原町市で実施されます。

5. 地区役員について

- ④ 石黒P.G：諮問委員会の委員
 米山奨学委員会の委員
 会員増強拡大委員会の委員長

- ⑤ 新穂光一郎君：口際青少年交換小委員会の
 委員

第2日目は、午前・午後を通じ会長部会、幹事部
会、4大奉仕部会、青少年奉仕部会、会員増強部会
の8つに分れ勉強会を実施し、皆さん夫々の分野に
於てより多くの成果を修められたことと思われま
す。最後になりましたが、次年度ガバナーの要望とし

会員スピーチ

80年代の消費者傾向

皆川光吉君

昨年11月に当ロータリークラブに入会させてい
だき約7ヶ月経ちました。いまだに西も東もわから
ず只ウロウロしておりますが、会員の皆様の温かい
ご友情とご指導によりまして、これからも努力致し
まして、皆さんと共に歩んでまいりたいと思いま
す。

前々からプログラム委員長の佐藤陸男さんよりス
ピーチをやるように言われておりましたが、人前で
話しをする事が大の苦手とする事ですし、諸先輩を
前にしてスピーチをやる程知識をもっておりません。
色々考えましたが、頭の中が大体カラッポな私には
いい知恵が浮ぶ訳がありません。皆さんには関係の
ない、又このような例会でのスピーチになるかなら
ないかわかりませんが、私達業種のトップでありま
す美津濃スポーツの特約店会議に於て社長の小野氏
より、80年代の消費者傾向と云う話しの中から感じ
た事をメモして来ましたので、それとスポーツ業会
の現況をスピーチ致します。

現在、消費全般を見ますとあまり良くありません。
しかし、その中でも着実に売上げを伸ばしている業
種や商品もあります。例えばVTR、パソコンなど
軽・薄・短・小などと言われて伸びているものと、停
滞しているものの間にはどんな差があるのか？ 伸
びている商品に共通する要素は、消費者がその商品
を使いこなすことに喜びを感じられるようなもので
あり、停滞しているものにはその余地がないか、少
くないのではないのだろうか？

現代はハンドリングの時代。つまり物を使いこな

ては大きなものが2つあります。

1. 会員増強

会員の退会することを防止し、6月30日現在の
会員数により、会員5人で1人の会員を入学せし
め、会員100万人達成に協力してほしい。

2. ロータリー財団の認識を深くして財団寄附に協 力してもらいたい。

会員の20%が、4年後を目標にしてポール・ハ
リス・フェローになって貰いたい。その為には今年
よりポール・ハリス・準フェローになって貰いたい。
尚、今回地区協議会に出席されました秋野さん、
川村さん、板垣さん、小池さん、山口さん、高橋さ
ん、庄司さん、遠い処ほんとうにご苦労様でした。

す時代であると言われております。たとえば、50万
円のパーソナルコンピューターのセヨトがあるとし
よう。マニアになれば何時間もキーボードに向っ
ております。仮に1日平均2時間、1年に150日ぐら
いこれを使うとすれば、このセットの1時間当りの
費用は24円を切ります。これに対して、たとえ2万
円の商品であっても年に5時間しか使わないとすれ
ば時間単価はパソコン以上になるわけです。更に使
いこなす喜びを計算に入れますと、両者の差がいかに
大きいかということがはっきりしてくるし、また
商品の価格だけで比較できないことがわかります。

戦後の飢餓時代は物を所有することが最大のテーマ
でありました。今、家の中を見渡せば、溢れんば
かりのモノの洪水——中には全く使われることなく
埃を被ってしまっている商品が、どこの家にも5～
10、或はそれ以上あると思います。それらの商品は
所有する事——有るか無いかと云う存在の価値があ
る程度基盤になっていたはずであります。それにむ
けてメーカー側の商品開発も、今思えば“使いこな
す..”というよりも“売れる..”という発想が第一条件
であったと言えよう。しかし、時代の変化(高度成
長から低成長、大量消費から本物志向といった変
化)と共に、商品購買の担い手が、ありあまるモノ
の中から選択しながら育ってきた世代にバトンタッ
チされてきております。

その新しい世代にとって商品は、相変わらず単に
“売れる..”発想のモノで満足させられるのだろうか。

少なくとも、この新しい担い手達にとっての商品は“持つ”、“持たない”ということより、自分のものとして使いこなせるということが大きな魅力として要求しております。

また、革新的な新商品が登場しても、低価格化、小型化（ハンディ）、高性能化という商品誕生後のいくつものドラマを見てきているから、使い易くなるまで、或は買い易くなるまで待つということをも充分体験しております。飢餓世代の発想では及びもつかない購買術を持っております。次から次に登場する商品のバリエーションを人々は多様化と呼んでおります。確かにその一言でその状態は説明できるのだが、わけがわからないから多様化と言ってしまう面も否定はできない。ちょっと見方を変えて、この多様化と呼ばれる商品の群れは、“ハンドリングの一覧表”と考えますと、意外に中味が整理されてきます。ちょうどカタログ誌やタウン誌、趣味雑誌など情報を満載した雑誌の中から、自分の趣味分野を選びとるように、人々は自分のハンドリングに合わせて商品を選ぶことが出来ます。その基盤となる思想は、かつての“所有する”ことでなく、“使いこなす”ということに変化しているから“売れる”ことより“使われる”ことの発想が、今求められております。

この様な時代を背景にした私の生活の糧にしておりますスポーツ産業を見ますと、“見るスポーツ”から“参加するスポーツ”へと大衆化する時代を迎えております。スポーツを生活に密着したものとして、広い分野で思い思いにスポーツを楽しむという行動が日常化しております。こうした生活環境基盤の充実から、スポーツ産業といわれる産業が大きく成長してきて、わが国の経済の中でも少なからず注目される存在となっております。

しかし、只一口にスポーツ産業といっても、一つはスポーツ用品市場（スポーツ用具、服装）等の販売市場、二つは（民間のスポーツ施設、公共のスポーツ施設、職場のスポーツ施設、学校の体育施設）というスポーツ施設市場、三つには（各種運動サークル、アスレチッククラブ）というスポーツ教育市場と、それぞれ独立した三つの市場から成っております。各々の市場が補い合いながらスポーツの成長をもたらしております。

スポーツ用品市場が成長した背景には、所得水準の向上、それにともない余暇時間の増大したことにより、国民の意識が“物の豊さ”から“心の豊さ”

を求めるように変化してまいりまして、健康、レジャーに対する関心が高まり、積極的に自分で体を動かすようになってきた事、又、スポーツが多様化してまいりまして、各種のスポーツ愛好者が増え、夏は水泳、冬はスキー、春秋はテニス、ゴルフというように、一人の人が何種類ものスポーツをやる様になって来ました。又、スポーツ施設、教育の充実が社会的に認識されてきてまして、スポーツをやる環境が非常に良くなってきたからと思います。

それでは、このような状況の中でわが山形県がどのような現況にあるかと言いますと、只これから申し上げますデータは57年の市場概況ですので、多少は違いがあると思いますが、そう大きく差はないと思います。

山形県民一人あたりのスポーツ用品に出費する金額は平均で約7,090円であります。これを全国平均と比較してみますと、全国平均が8,820円、1,730円低い数字です。又、東日本（関東以北、北海道も含む）の平均9,850円、2,760円低い数字です。全国47都道府県の順位では31番目であります。これは毎年行なわれます国民体育大会での山形県の得点の順位とほぼ同じでありまして、スポーツ用品出費金額＝国体順位と、あまりかんばしくない結果がでております。

来る67年には山形県に於てべにばな国体が開催される事が決定しております。特別に順位にこだわるわけではありませんが、今少しスポーツ用品に出費する金額を奮発していただきまして、上位入賞を果してみたいと思うものです。

スマイル

石黒慶之助 君 原町の地区協議会に板垣広志君の車で往復出来ました。又、パーティーの際、芸者さんより62才とも云われましたので。

松田 士郎 君 商工会議所主催の6月2日の早朝マラソンに挙って参加をお願いします。

佐藤 衛 君 仙台で新会社のNTTさんの入札を落札出来ました。

ビジター

鶴岡西R.C. 菅原年雄君・三浦正志君
桜井 晋君

NEW BRUNSWICK ROTARY CLUB

Number Seven Hundred Sixty One

NEW BRUNSWICK, N. J.



May , 1985

President Tetsuo Kawamura
Tsuruoka Rotary Club

Dear President Kowamura and fellow Rotarians:

I am Daniel O'Keefe, President of the New Brunswick Rotary Club. I am honored to send you greetings from our Club. We are Sister City Rotary Clubs and have been for twenty-five years.

Last year we had the pleasure of hosting your Youth Exchange Student, Miss Megumi Shimpō, who helped us to know more about international friendship. We also hosted the young people from the Tsuruoka-New Brunswick Friendship Association when they came here in August. I send them my special greetings.

Last Spring Dr. Tetsu Mitsui, Mrs. Mitsui and their son visited our Rotary Club. Dr. Mitsui spoke of the need for further developing friendship between young people of different nations through exchange visits.

We hope friendship exchange visits can continue to be made between the young people of our cities.

Rotarily yours,

Handwritten signature of Daniel W. O'Keefe in cursive script.
Daniel W. O'Keefe

(今週の担当者 手塚 拓)